



昔話と古典

箱に入った桃太郎

まだ桃は流れて来ぬに子は寝入り

真白(まっしろ)になつて浦島(うらしま)くやしがり

その後(のち)はこはこ(おきな)は翁竹(おきな)を割り

右の三句は、『誹風柳多留(はいふうやなぎだる)』に収められ

ている江戸時代の川柳(せんりゅう)です。桃太郎や浦

島太郎(たろう)、かぐや姫(ひめ)の話が、当時も広く知ら

れていたことがわかります。桃太郎の話は

江戸時代の初期に成立して全国に広まりま

5



「桃太郎鬼が鳥行き」(明治時代)

目標

● 古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣い(かなづかい)にふれる。

誹風柳多留 川柳集。

川柳は、江戸時代中期から盛んに作られるようになった。五七五を基本としながらも、季語や切れ字などの形式にとらわれず、自由な表現を特徴とする。評者として人気のあった柄井川柳(からいせんりゅう)「一七八―一七九〇」の名をとって呼ばれる。



した。浦島太郎は、『日本書紀』や『万葉集』などの奈良時代の書物に出てきます。また、かぐや姫の登場する『竹取物語』は、平安時代の初期に成立したものです。

これらの昔話は、時代や地域によって少しずつ異なって記録されています。各地に伝わる昔話を記録した『桃太郎の誕生』によると、桃太郎の誕生の仕方一つをとってもさまざまなものがあり、山形県には次のような話が伝わっています。

お婆さんが川で洗濯をしていると、小さな木の香箱が二つ流れてきました。お婆さんは、

「かーらだこん箱はあっちゃ行け、みーだこん箱はこっちゃ来え。」

と歌いました。寄ってきた箱には桃が一つ入っていました。その桃が二つに割れて、中から男の子が生まれました。

桃太郎の話はほかに、さまざまな展開のものがあります。私たちがよく知っている話の形は、実は明治時代以降に、国語の教科書や子ども向けの本によって広まったものなのです。

15

10

5

日本書紀 奈良時代に成立した歴史書。
万葉集 奈良時代にまとめられた歌集。

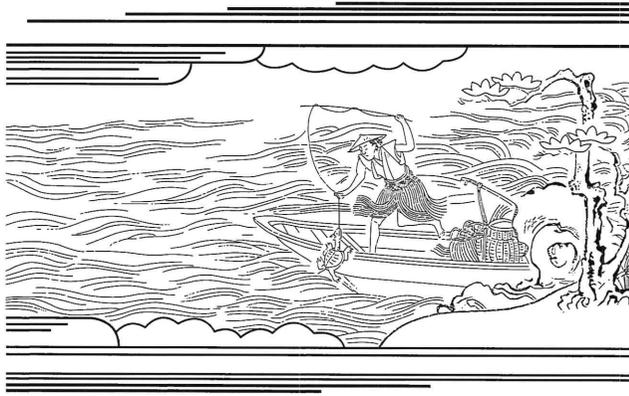
竹取物語 平安時代に作られた現存最古の物語。
桃太郎の誕生 民俗学者の柳田国男「一八七五—一九六二」の著作。一九三三年刊。

香箱 本来は香木や香料を収納する箱。ここでは子どものおもちゃとして作られた小さな木箱のこと。



「かーらだこん箱はあっちゃ行け、みーだこん箱はこっちゃ来え。」
空の香箱はあっちゃへ行け、実の入った香箱はこっちゃへ来い。

同じようなことは、浦島太郎についてもいえます。『御伽草子』という江戸時代の中頃に出版された子ども向けの本では、子どもたちにいじめられている亀を浦島太郎が助けるといふ場面はありません。



絵入りの短編物語集『御伽草子』に描かれた浦島太郎

昔、丹後の国に浦島太郎という若者がおり、朝から晩まで魚を捕って両親を養っていました。

ある日、釣りをし、貝を拾い、海藻を採っていたところ、江島が磯で、亀を一匹釣り上げました。

浦島太郎は、

「鶴は千年亀は万年というように、おまえは長生きをする生き物だ。ここで命を絶つのはかわいそうなので、助けてやる。いつもこの恩を思い出すのだぞ。」

と言って亀を海に帰してやりました。

さてこの後、亀は浦島太郎にどんな恩返しをするのでしょうか。

遠い昔から伝えられてきた話には、いつの時代にも変わることなく好まれた要素

丹後の国 現在の京都府北部。

千 みちしるべ

1 古典の仮名遣いに注意して、三つの川柳を書き写し、音読しよう。

2 自分の生活の中で、昔話を読んだり聞いたりした経験を話し合おう。

が含まれていいます。その一方で、語られた時代や地域の社会や生活も反映されています。それらを知ること、私たちが自身のものの考え方の特色にも気づかされます。昔話や古典に親しむことは、私たちの感受性や表現力を豊かにしてくれるでしょう。また、親しまれることによって、古典は次の時代へと受け継がれていくのです。



うきよえ さんたろう (江戸時代)
浮世絵に描かれた金太郎

振り返り

□ 昔話の中には、古典から生まれたものがあることを理解しているか。